

5 安全問題に対する関心

日本は「地震や台風などの自然災害の問題」への関心が最も高い。中国は「食品の安全の問題」への関心が際立って高い。韓国は「地域の治安の問題」「建築物の安全の問題」が他の3か国と比べて高くなっている。米国は、全体的に数値が低い。その中で、「水質汚染の問題」に対する関心が他の3か国と比べて高い。

「地震や台風などの自然災害の問題」「食品の安全の問題」など11項目の安全問題を挙げ、関心の高いものを3つまで選んでもらった。日本の高校生は、「地震や台風などの自然災害の問題」を選択した者の割合が55.3%と、ほかの3か国と比べて際立って高い。「インターネットによる被害の問題」も40.0%と4か国の中で最も高い。中国は「食品の安全の問題」を挙げた者の割合が75.8%で、際立って高い。「学校内の安全の問題」(35.9%)、「薬品の安全の問題」(29.1%)、「公共交通機関の安全の問題」(23.5%)も4か国の中で最も高い。韓国は、「地域の治安の問題」(38.3%)、「建築物の安全の問題」(24.7%)、「オレオレ詐欺、なりすまし詐欺の問題」(24.4%)に対する関心がほかの3か国に比べて高い。米国は、回答者は多くないものの、「水質汚染の問題」が22.3%と他の3か国に比べて関心が高い(図5-1)。

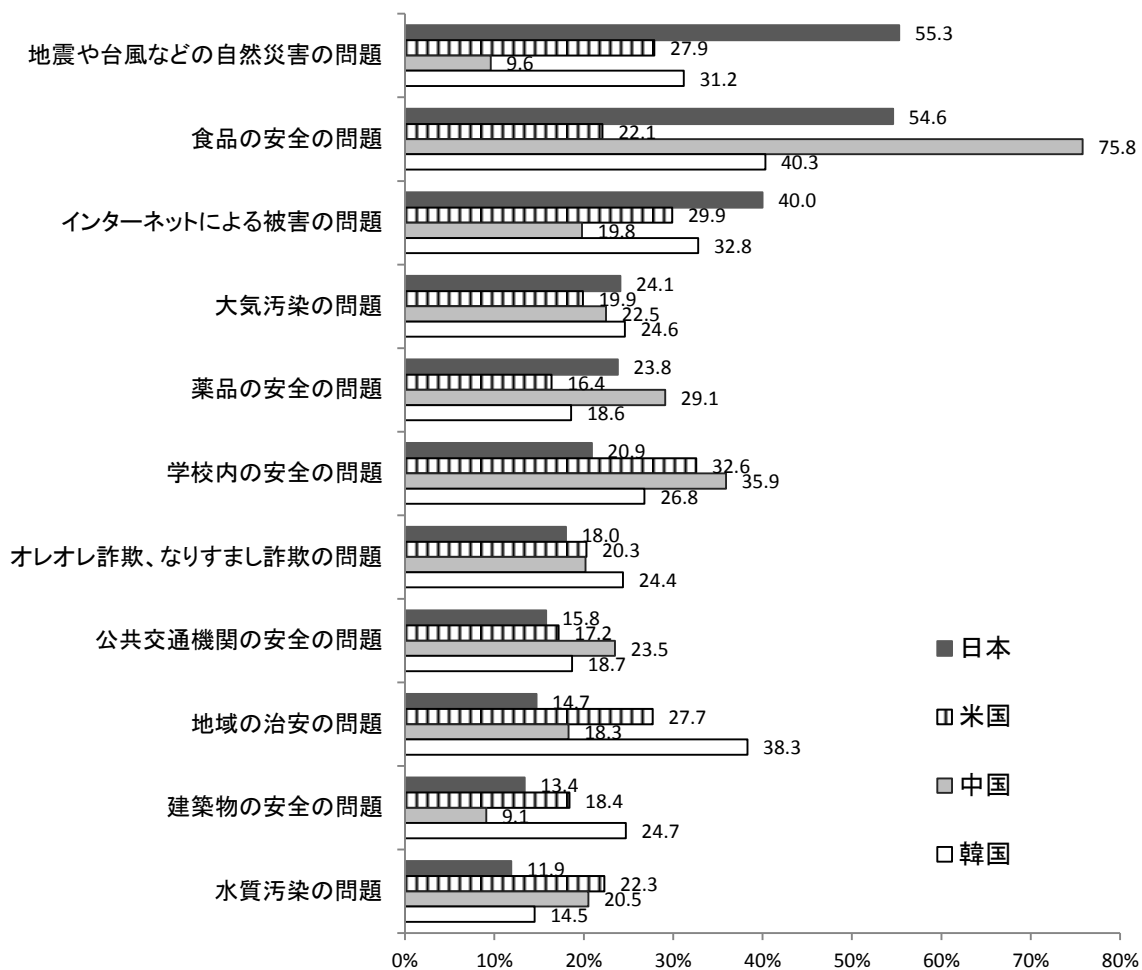


図5-1 安全問題について、関心の高いものを3つ選ぶ

次に日常生活での不安や危険と、社会の安全について、それぞれどのように思っているのかを聞いた。「近年、あなたの日常生活の中で、不安や危険を感じるが増えたと思うか」との設問では、「増えた」「どちらかといえば増えた」と回答した者の割合が、米国 54.7%、中国 48.9%、日本 48.2%、韓国 37.6%となっている（図 5-2）。

「全体的にみれば、今の社会はどの程度安全だと思うか」については、「とても安全である」「まあ安全である」と回答した者の割合は、日本が最も高く 67.1%、次いで米国 62.2%、中国 56.8%、韓国 27.2%の順となっていて、韓国の低さが際立っている（図 5-3）。

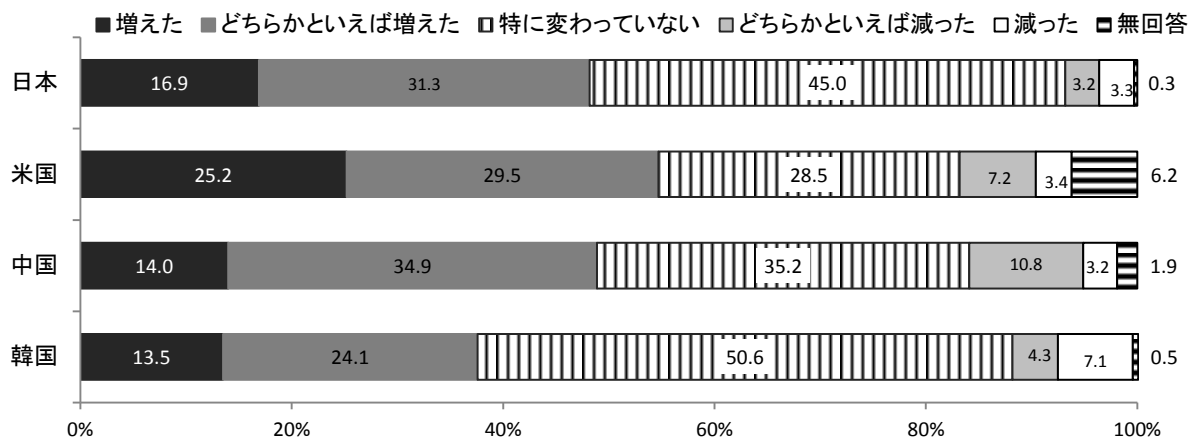


図 5-2 近年、あなたの日常生活の中で、不安や危険を感じるが増えたと思うか

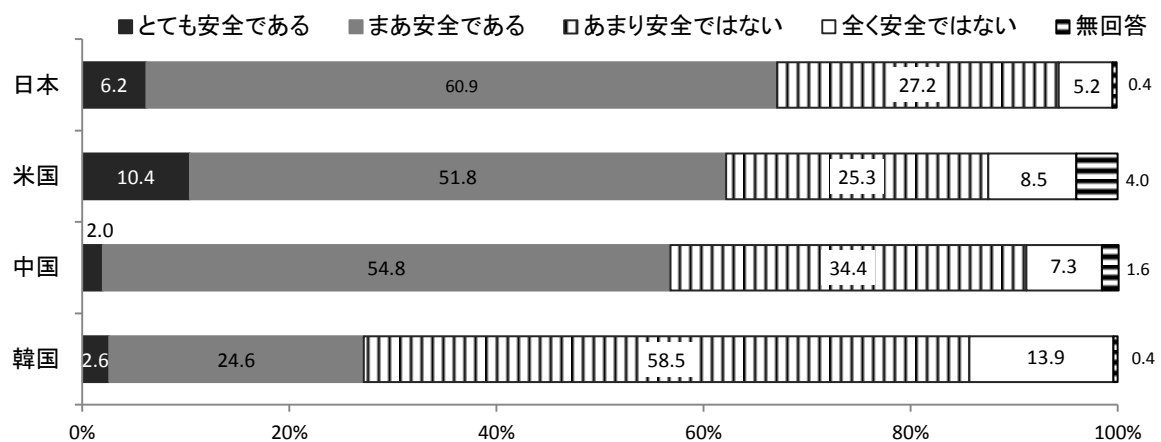


図 5-3 全体的にみれば、今の社会はどの程度安全だと思うか